

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2001-520886(P2001-520886A)

【公表日】平成 13 年 11 月 6 日 (2001.11.6)

【出願番号】特願 2000-518092(P2000-518092)

【国際特許分類第 7 版】

C 1 2 N 15/09

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/475

C 0 7 K 16/22

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

C 1 2 P 21/02

// A 6 1 K 39/395

C 1 2 P 21/08

(C 1 2 P 21/08

C 1 2 R 1:91 )

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 31/711

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 35/00

C 0 7 K 14/475

C 0 7 K 16/22

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 P 21/02 H

A 6 1 K 37/02

C 1 2 N 5/00 A

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 T

C 1 2 P 21/08

C 1 2 P 21/08

C 1 2 R 1:91

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 4 月 18 日 (2005.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

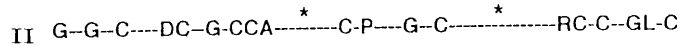
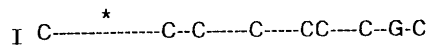
【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

タンパク質が、アミノ酸コンセンサス配列

## 【化 1】



ここで、「 - 」はアミノ酸を示し、アスタリスクが付されている場合、アミノ酸の数は変動しうる；

の少なくとも 1 つを含有してなるものであり、かつ、配列番号：1～7 の DNA により、及び縮重遺伝コードを介してこの DNA に関連する DNA によりそれぞれコードされるものである、wnt シグナル経路の阻害タンパク質。

## 【請求項 2】

DNA がそれぞれ、配列番号：1～7 の DNA 及び縮重遺伝コードを介してこの DNA に関連する DNA である、請求項 1 記載のタンパク質をコードする DNA。

## 【請求項 3】

請求項 2 記載の DNA を含有してなる発現プラスミド。

## 【請求項 4】

請求項 3 記載の発現プラスミドを含む形質転換体。

## 【請求項 5】

好適な条件下に請求項 4 記載の形質転換体を培養する工程を含む、請求項 1 記載のタンパク質の調製方法。

## 【請求項 6】

請求項 5 記載のタンパク質に対する抗体。

## 【請求項 7】

診断的に及び / 又は治療的に wnt シグナル経路を阻害するための、請求項 1 記載のアミノ酸コンセンサス配列 I 及び II の少なくとも 1 つを含有してなるタンパク質をコードする DNA。

## 【請求項 8】

診断的に及び / 又は治療的に wnt シグナル経路を阻害するための、請求項 1 記載のアミノ酸コンセンサス配列 I および II の少なくとも 1 つを含有してなるタンパク質。